

4 月定例教育委員会会議録

【1】開催日時 令和8年4月23日（木）14時53分～16時

【2】開催場所 武雄市役所 4階会議室

【3】出席者名 教 育 長：松尾教育長

教育委員：大庭教育長職務代理者、松尾委員、竹内委員、落合委員

事 務 局：江上こども教育部長、野口こども教育部理事、真崎教育総務課長、緒方こども未来課長、武村こども未来課参事、石橋新しい学校づくり課長、山口新しい学校づくり課参事、武富多様な学び支援室長、井手新文化交流拠点整備室長、原文化課長、井手生涯学習課長、林新しい学校づくり課教育監、溝上図書館・歴史資料館長、杉原教育総務課長代理

【4】傍聴者数 なし

【5】報道関係者 なし

【6】議事録署名人の指名 〔松尾委員を指名〕

【7】前回会議録の承認 令和8年3月定例教育委員会会議録

【8】教育長の報告

1. はじめに

- ・県教委と市町教委との協働会議（4/17 意見交換：体育館への空調設備整備）
- ・わんぱくスクール開校式（4/26 32人 武内公民館）
- ・学校訪問（西部教育事務所訪問に1名、2校程度 市教委訪問に2名、3校程度）

2. 今年度以降のこども教育部の主な取組

- (1) 新文化交流施設の建設並びに武雄公民館建設
- (2) 武雄アジア大学との連携（教職員、児童生徒、保護者、公民館など）
- (3) 校務における生成AIを活用、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- (4) 学校における働き方改革の推進（武雄市業務量管理・健康確保措置計画の推進）
- (5) 不登校対策の推進
- (6) 部活動地域展開の推進

3. 教育委員の研修関係

- ・7/3(金)佐賀県市町教育委員会連合会定期総会・研修会（14:00～ Gはがくれ2階）
- ・市連Pと教育委員会の懇談会（8月上旬）
- ・西部地区市町教育委員会連合会定期総会・研修会（8月下旬、場所、内容等は今後決定）

- ・文科省主催 市町村教育委員会研究協議会（11月下旬、場所未定、オンラインの期日未定）

4. 今年度の研究指定校

- ・文科省指定：生成A I校務利用（山内中、北方中、御船が丘小、山内西小）
- ・県教委指定：橘小（授業づくり・学力向上 2年）及び「チーム担任制」の実践校
東川登小「へき地・小規模校教育 2年」
- ・市教委指定：個別最適な学びと協働的な学び一体的な充実（山内中、北方中、東川登小、橘小）

5. (1)運動会・体育大会（春の運動会8校 秋の運動会9校）

5月17日(日) 武雄北中 川登中 北方中 5月23日(土) 武雄青陵中

5月24日(日) 武雄小 朝日小 北方小 5月31日(日) 御船が丘小

(2)県教育委員会と市町教育委員会との協働会議（4/17 別資料）

(3)雄武町児童交流 受入7/31～8/1（交流校：朝日小） 派遣2/6～2/10（予定）

(4)学校創立150周年事業（山内東小 11月8日(日)）

【9】議 事〔公開〕

(1)提出議案

第1号議案 武雄市部活動地域展開指導者資格取得費補助金交付要綱

(2)報告事項

- ①自治公民館長の委嘱について
- ②就学支援委員会の委嘱について
- ③職員の配置について
- ④図書館の選書について
- ⑤各課からの行事報告

【10】議 事〔非公開〕

(1)提出議案

第2号議案 武雄市奨学資金貸与に係る奨学生の決定について

【11】その他

【12】次回開催日程について

令和8年5月20日(水) 15時～ 4階会議室

【13】閉会

午後2時53分 開会

○教育長

時間前ではございますけれども、全員おそろいですので、令和8年度の第1回目、そして、4月の定例教育をこの後始めたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

議事録署名人ということで、3月の議事録については落合委員さん、そして、4月の議事録については松尾委員さんということで、どうぞよろしくお願いします。

では、今日のレジュメを見ていただきたいんですけども、【公開】と【非公開】の議案、いつものとおりですが、【非公開】議案について奨学金関係のことが1つございます。公にできないものという理由により【非公開】にしたいと思いますが、よろしいでしょうか〔「はい」と声あり〕。

皆さん了解いただきましたので、奨学金関係の議案については【非公開】といたします。

続きまして、前回の会議録の承認ということで、3月の会議録の承認について御意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか〔「はい」と声あり〕。

では、3月の会議録の承認については承認を受けました。

4番目で私の報告ということで、いつものとおり私のA4、1枚のものと別添資料ということでよろしくお願いします。

先週の金曜日、4月17日に県教育委員会と市町教育委員会との協働会議というのがございました。竹内委員さんと2人で参加をしてまいりました。それが次のページからの別添資料でございます。ICT活用の事業ということ、あるいは生成AIのガイドラインとか、その次が教職員課から出ておりますが、「未来のさが」を担う教員確保というのと、今年から初めて、これからの学校プロジェクトというようなことで、「やってみるから、はじめる。はじまる。」というキャッチコピーの下、こういうことでされます。

メインはその次のページです。全国的に有名な人を講師として呼んで教師の指導力をということで、工藤勇一さんも来られます。昨年、武雄高校が呼んで武雄中学校に来ていただきましたけれども、今度は県の講師として来られるということです。

この最後を開いてもらっていいでしょうか。教育総務課ということで、県からの事業説明の後、意見交換会というのがあって、今年の意見交換会のテーマは「学校体育館への空調設備整備について」ということで、これは県の教育総務課ですから、県立学校にどうするかということをもとに説明されました。新聞にも載ってございましたけれども、県立高校は佐賀北高校、唐津南高校、そして佐賀商業高校、この3校が部活動が非常に盛んということで、きちっとした据置型のエアコンを入れると。

それ以外の学校をどうするかということで、順番を決めてしていたらいつ出来上がるか分からないということで、緊急に来年1年間で大型スポットクーラーをほかの学校に2台ずつ

入れるということで、取りあえず来年でそろそろということになるわけですが、県立学校は51校ぐらいありますので、みんな同じような工事をしていたら間に合わないということで、大型スポットクーラーと、こういう入れ方をしますという説明があった後は市町ですけれども、武雄市としても今調査を始めて、来年度には中学校2校ほどに設置する方向で今準備をしています。ほとんどの市町が準備をしている段階です。

ただ、2校しかないような市町もありますので、一気に入れるところと、順番を決めて入れると、武雄のように一気に入れられないというところ、いろいろあるんですが、今検討されているのは、どんなエアコンを入れるかと、こういったスポットクーラーなのか、ちゃんとした据置きなのか、ケーブルワン・スポーツパークのような一番上等な、風がどんどんあんまり出ないようなエアコンが一番いいんですけど、卓球でもバドミントンでも問題なくできるようなですね。ただ、やっぱりスポットクーラーになると風が吹きますので、バドミントンとか卓球はできないと。そして、このスポットクーラーは、体育館を冷やすというよりも、体を冷やす、クーラーの前に行って体を冷やして、そして運動して、また暑くなったらスポットクーラーの前に行って、倒れる前にとということで緊急的に入れられるというようなことだそうです。まだこれを入れるというようなところはないようですが、かなりほかの市町も入れる方向で検討されています。

ただ、いろいろ業者を確認していたら、部品がそろうかどうか、エアコンがそろうかどうかというのが非常に今問題のようです。そういうことで、武雄市も一遍には入れきれませんが、少しずつ入れていくということで検討をしているところです。

では、私のレジュメに戻っていただきまして、2番目は、わんぱくスクールの開校式は今年度の日曜日に予定しています。4年生が12人おりますので、4年生から去年は認めたわけですが、今年はその2年目になりますけれども、32人のうちの12人が4年生、そして、20人が5・6年生ということで、武内公民館で開校式を迎えるということになります。

学校訪問がいよいよ始まります。事務所訪問は6月からですが、市教委訪問を5月に入れるかどうかです。一応確認ですが、西部教育事務所訪問には教育委員さんから1名行っていただくと。そして、行く学校数は2校程度ということで、今年度の市教委訪問は意見交換会がありますので、委員さんには2名来ていただいて、そして、3校程度市教委訪問のところに行ってもらおうということで、今、市教委訪問の希望を取っている段階ですので、一覧表ができて、次の教育委員会の頃には希望を取ったりして調整をしていきたいと思っています。

今年度のこども教育部の主な取組ということで、そこに書いております。

約1年後に新しい文化交流施設が出来上がる段階になってきました。同時に武雄公民館が出来上がるということでございます。

武雄アジア大学との連携ということで、教職員、児童・生徒、保護者、あるいは公民館な

どが武雄アジア大学と連携するということで大きな目標になってきます。

生成A I の利用、あるいは働き方改革の推進、武雄市の業務量管理を作成しましたので、それを推進していくと。そして、不登校対策の推進。そして、部活動の地域展開というようなことで挙げているところです。

3つ目は、教育委員さん方の研修関係ですけれども、年間、大体大きくこういったものがありますが、7月3日は県の教育委員会の研修会ということで、グランデはがくれであります。まだ講師とかは決まっていませんけれども、多分グループ協議ではなくて講演会の形になろうかと思いますが、この後決まっていきます。7月3日は確定しています。

そして、8月上旬に市連Pと教育委員会の懇談会が開かれます。

そして、8月下旬に今度は西部地区の教育委員会連合会の定期総会と研修会ということで、8月下旬、場所、あるいは内容等は今後決定していきます。

そして、昨年はオンラインでしていただきました文科省主催の市町村教育委員会の研究協議会が一応11月下旬に開かれると。去年は岡山でしたので、岡山には行かなくて、1月にオンラインでしました。ということで、これがまだ場所とかオンラインがいつあるのかというのは全く未定です。分かり次第、報告をいたします。

今年度の研究指定校ですが、文科省指定が生成A I の校務利用ということで4校、山内中、北方中、御船が丘小、山内西小と。

そして、県教委指定が橘小の学力向上関係の授業づくり、これは指定2年です。上の文科省は、指定は1年です。そして、去年からしておりますチーム担任制の実践校ということで橘小学校です。そして、東川登小学校は僻地・小規模校の教育ということで2年間の指定を受けています。

そして、市教委の単独指定ということで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実ということで、山内中、北方中、そして、東川登小、橘小ということで進んでいきます。

春の運動会ですけれども、このように5月の運動会が8校、武雄青陵中まで含めて8校が春の運動会ということになります。武雄青陵中は土曜日に開催されるというようなことです。10月にも山内中学校が土曜日に開催するということで決定しているようです。日曜日が多かったんですけれども、土曜日開催が出てまいりました。

2番目の県教委と市町教育委員会は上で説明しておりますけれども、そういう状況です。

この前、落合委員さんに雄武町に行っていただいたとあっていたら、今度は受入れの時期が来ました。7月31日に武雄に来られてということで、今回は朝日小学校が交流校になります。そして、派遣するのは2月6日からということで、これはあくまでも今のところの予定で、この後、業者と検討していくということになります。

昨年度は150周年の事業があちこちの小学校で行われましたけれども、今年は1校だけですね、山内東小学校で150周年関係の事業が行われるということになっています。

そういったことで私のほうからの報告です。

以上ですが、部長さんからはあったですか。

○こども教育部長

特にありません。

○教育長

ありませんね。

そしたら、ここで一旦質問をお受けしたいと思います。何かございませんでしょうか。

○OD委員

ちょっと1つよろしいですか。

教育長さんの報告の中の1番の「はじめに」の中の2つ目の紹介というか、わんぱくスクールの話が出まして、武雄市は子どもクラブ育成会あたりが活発にされて、これもいろんな事業で推進をされておりますけど、先ほど聞いたら4年生が何人と言われたかな。

○教育長

12人だったですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）

○OD委員

これは規約とかで、多分全国的に6年生が以前より、スポーツ活動とか、学習塾とか、進路、中学校の県立中とかで、なかなか6年生の参加というのがいろんなところが少なくなっているというような話を聞くんですね。どんどん下げてはいいと思いますけど、規約とかいうのがあって、多分中学生が——もともとは、これは小学生がメインだったか。6年生とかがメインだったりののが、だんだんと下がってきたときに、年齢的な規約というか、保護者の承諾はもちろん、学校長の承諾とかもあると思うんですけど、この辺はどんどん、例えば3年生が来たいとなったとき、3年生まで受け入れるとか、その辺は何か規約的なものはないんですか。

○教育長

生涯学習課長。

○生涯学習課長

ちょっと確認していませんけれども、規約があったかどうかは記憶にないんですけれども、今のところは4年生でも大変な部分はあるかと思うので、それをさらに下げるといふことは難しいかなというふうには思っています。やはり1泊泊まったりするので、そこら辺ができるかどうかの年齢もありますので、そこは今後も考えていきたいと思っています。

ただ、今のところは、32名と今年度は多かったんですけども、この人数を見ながら、どこまでするのかというのは今後も考えていきたいというふうに思っております。

○OD委員

続いてですけど、スポーツ活動なんかを例に取って言ったんですけど、今、スポーツ少年

団なんかも3歳以上で活動させているんですよね。それは日本が認めているのじゃないんですけど、健康面とか安全面とか、場合によってはその辺が度が過ぎてしまうと、当然キャンプも6年生と同じ活動を4年生もするわけでしょうから、やっぱり体力的なものは体が大きくなっているとはいえ、未熟というか幼稚というか、そういうがあるので、安全面をしたときに、どんどん下げて、保護者の要望であるとか出たときにどこまで下げるかというのはやっぱり規約的なものがあつたらいいのかなとちょっと思ったので、規約の確認をしました。ありがとうございます。

以上でいいです。

○教育長

それは規約があるのかどうか確認をしておいてください。昨年から4年生が入って、特に問題はなかったですかね。ちょっとやっぱり手がかかったとか。

○生涯学習課長

そうですね。お泊まりのときにちょっと泣いたりする子がいたので、そこら辺が問題点ではありますので、そこら辺は対応しながらという形にはなります。

○OD委員

ありがとうございます。

○教育長

ほかよろしいでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、議事に入っていきます。

まず、【公開】での議事です。

(1)番、提出議案ということで、第1号議案 武雄市部活動地域展開指導者資格取得費補助金交付要綱について、新しい学校づくり課お願いします。

○新しい学校づくり課参事

5ページをお開きください。

第1号議案の武雄市部活動地域展開指導者資格取得費補助金交付要綱について補足説明をいたします。

この要綱の趣旨としましては、主に部活動（スポーツ及び文化活動）の指導者の資質向上を図り、子どもたちの健全な育成と部活動の地域移行を円滑に推進していくため、指導者資格の取得に要する経費に対して補助金を交付するというようなものを趣旨としております。

補助金の対象者にしましては、武雄市部活動地域展開事業実施要領で定める武雄市中学校部活動地域展開指導員として登録されている方への補助金を出したいというふうに考えております。

対象となる経費につきましてですが、受講料、これは検定料も含みます。あと、登録料、これは初回のみとさせていただきます。そういったところでの経費ですね。なお、交通費、

宿泊費、食糧費、再試験料及び更新手数料は補助の対象としていないと明記をしております。

補助金の額は2万円を限度としております。

あと、詳細はこちらのほうに書いておりますが、そういった趣旨、目的を含め、要綱を設定させていただきたいと思っております。

以上です。

○教育長

ただいま新しい学校づくり課参事からありました指導者の資格取得費の補助金交付要綱について、御質問、御意見等ございませんでしょうか。はい、どうぞ。

○OD委員

本来であれば、担当が学校教育課でなければ教育委員会のこういう場に出てこない内容かも知れないわけなので、非常にありがたいなと思って。

実は昨日、教育長さんの御配慮で市長さんともお話しする機会がありまして、部活動の地域展開についても武雄市の状況を——僕も県のスポーツ少年団の副本部長をしている関係で九州ブロックの、九州とか全国の動きなんかをいち早く知るようなことの中で、武雄市が取り組んでいることを——非常に九州、佐賀県でもいろんな取組は白石町であったりとか佐賀市とか新聞に載ることは多いんですけど、武雄市は回数的なものとか、教育委員会、教育長さんを中心にされているという動きは県内でも早いほうの中で、その予算を市町が配慮されたということで、去年から月2回の練習の指導者に対する謝金を組まれたという、それは県内でも最初であるし、九州でも武雄市はこういう取組をしていますよという中で、今回この交付要綱が出されているというのは、さらに武雄市がそういう指導者をどう確保していくかというか、子どもたちのことを最優先に考えてされているという意味では、非常にありがたいなと思っています。

指導者も手を挙げて、来られて指導して、本来、今ほとんどが基本的にボランティア的な形の保護者からの幾らかの有償ボランティアみたいな形でお金をもらわれている分を、市がこれだけ組まれている。これは将来5年後、10年後は、本来であればもう少し国が確保して配慮すべきことでしょうけど、多分に国は最終的には、市町行政の財政がどうであろうと、市町に下ろされて、市町のほうも5年、10年したら、やはりそれは受益者負担でしょうということで保護者にかかってくる可能性もゼロじゃないわけで、でも、こういうものを皆さんで見ながら指導者を確保しておけば、将来的に指導者不足じゃなくて、武雄は積極的に手を挙げる人がいますよという意味では、それは1人当たり1万円、2万円、3万円ぐらいだとは思いますが、全部すれば、20人、30人という指導者へこういう配慮がなされるということなので、非常にありがたいなと、感謝の言葉で。質問ではございませんが、思いました。

以上です。

○教育長

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、提出議案、第1号議案ですけれども、武雄市部活動地域展開指導者資格取得費補助金交付要綱について、承認いただく委員さん方は挙手をお願いします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございました。1号議案は承認されました。

そしたら、山口参事は武雄アジア大学のほうに打合せにこの後行くようになっておりますので、3時半ぐらいになったら退室させていただきたいと思っています。

では、(2)の報告事項に移ります。

①番、自治公民館長の委嘱について。どうぞよろしくお願いします。

○教育総務課長

資料は14ページを御覧ください。

①、②は教育総務課関連ですので、続けて一緒に説明してよろしいでしょうか。

○教育長

はい。

○教育総務課長

それでは、①自治公民館長の委嘱についてですけれども、武雄町で6名、東川登町で4名、北方町で3名の方を推薦いただきましたので、この13名の方に4月1日付で自治公民館長を委嘱しております。自治公民館名、氏名は資料のとおりでございますので御確認ください。

次に、②就学支援委員会委員の委嘱及び任命についてですけれども、昨年度末で就学支援委員会委員の任期が満了しております。資料に記載しております20名の方に委員を委嘱、任命しております。任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間となります。氏名、職名、所属については資料のとおりとなりますので御確認ください。

以上、①自治公民館長の委嘱、②就学支援委員会委員の委嘱及び任命についての報告となります。よろしくお願いいたします。

○教育長

報告事項ですから、承認とかは取りません。よろしいでしょうか。はい、どうぞ。

○A委員

②番の就学支援委員会委員に関してなんですけれども、関係各所から委員の方が選ばれていると思うんですけれども、幼児教育の幼稚園、こども園、保育園の分野からは委員さんは選出されていらっしゃるかなと思うんですが、それに関して。

○教育長

どうぞ。

○多様な学び支援室長

武雄市の就学支援委員会条例で、20名の委員を任命することになっております。学識経験

を有する者、医師、それに関係教育機関の職員ということで任命することになっているんですが、現在保育園のほうからは委員はおりませんが、園の状況とか、園から小学校の状況の把握のために、例えば、福祉部のこども家庭課、日頃全園を回って把握されている園とか、あと、くろかみ学園の児童発達支援センターを入れて、就学前の園児たちの状況を把握しているものを含めておりますので、今のところ、園から、園の状況を把握しているメンバーは入っていると認識をしているところです。

○教育長

はい、どうぞ。

○A委員

それは分かるんですけども、園で関わっていないと分からない部分とかもあるかと思うますので、できたら今後、幼稚園、保育園、こども園関係の関連のところからもこういった委員に選出していただけたら、検討していただけたらなと思いましたので、よろしくお願いします。

○教育長

規定上は入れられるわけですかね、今の委員の構成。

○多様な学び支援室長

規定上は入れられます。先ほど申しました20名となって、今20名おりますので。

○教育長

どこかを交代したりして入れることはできるということですね。

○多様な学び支援室長

はい。あとは条例に基づいた——今、学校職員もメンバーには入っているんですけど、県の特別な講習とか受けた経験者だけでなく、教職員だけという名分じゃなくて、県の講習、研修を全て受けて修了証をもらった者とかの中から選定しておりますので、それも含めて検討していきたいと思っております。

○教育長

よろしいですか。

○A委員

分かりました。

○教育長

そしたら、報告事項の①番と②番、自治公民館長の委嘱と就学支援委員会の委嘱についてはこれで報告させていただくということで、就学支援委員会の委員さんについては、幼稚園、保育園、こども園については検討をしていただくということでよろしくお願いします。

③番、職員の配置についてということで、教育総務課お願いします。

○教育総務課長

③職員の配置についてですけれども、資料は13ページ、14ページの武雄市教育委員会職員名簿を御覧ください。令和8年度武雄市教育委員会の職員を掲載しておりますので、参考にさせていただきますよう御報告申し上げます。

この中で4月1日付の人事異動に伴いまして、本日、管理職4名が新しく教育委員会に出席しておりますので、4名より自己紹介をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○こども教育部長

4月1日に辞令をいただきまして皆さんに立ち会ってもらいました、江上と申します。前職は議会事務局にありました。議会对応はそんなに得意ではありませんが、新人議員さん以外は何かコミュニケーションを取れているほうかなと思いますので、そちらのほうで頑張りたいと。よろしくお願いいたします。

○新しい学校づくり課参事

今年度より新しい学校づくり課参事として勤務をすることとなりました山口信一郎と申します。3月末まで山内中学校のほうに在籍をしていました。学校のほうからまた違う視点で仕事をさせていただきます。新たな勉強と思っておりますが、武雄市の教育のために邁進してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○文化課長

こんにちは。4月の異動で参りました文化課の原といいます。前任は5年間、競輪事業所で勤務をしていました。教育分野は初めてですので、いろいろ学びながら教育分野の発展のために頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○こども未来課参事(子育て総合支援センター長)

こども未来課参事の武村と申します。今、子育て総合支援センターのセンター長として北方のほうに常時おります。令和4年に1年間だけ学校教育課の参事としてお世話になりました。また今回もよろしくお願いいたします。

○教育長

4人でよろしいですかね。網かけをされている方がこの委員会に出席いただく方ということになっておりますので、それ以外の職員、特に公民館あたりも今年お代わりになったのは、若木と北方が公民館長が交代しているということになります。

職員のことはいいですかね。特に質問等はないですかね〔「なし」と声あり〕。

では、④番、図書館の選書について、これはいつも言っていますが、特に補足等ありますか。

○図書館・歴史資料館長

今年度第1回目ということで、昨年度の選書と除籍した数を申し上げたいと思います。

令和7年度1年間で新しく図書を購入した冊数につきましては、5,458冊購入いたしました。

た。金額にして約1,400万円程度です。あと、古くなったということで廃棄した除籍の冊数につきましては4,658冊です。昨年度末、令和8年3月31日現在の図書館の蔵書冊数につきましては、全てで25万6,639冊の蔵書があるという状況でございます。

○教育長

令和7年度の購入と除籍の実績を言っていただきました。最終的に蔵書が25万6,639冊ということです。何か質問等ございますでしょうか。

○OD委員

館長さん、本当長くおって知らなくて申し訳ない、基本的な質問ですけど、若木の公民館が新しくなりまして、古い図書をいろいろ選別しまして、幾らかは残さないといけないだろうといって残して、新しい図書を入れる場所をまだ多く確保していて、お聞きしたら、巡回図書的な形で、それは公民館が申請すれば、除籍じゃないけど、あるものを借りるのか、古くなったものを借りるのか分かりませんが、何百冊か公民館の図書室のほうで一時的に閲覧をするような、回覧するような本が借りられるというふうに聞いたんですけど、その制度は各公民館が知っているんですか。

○教育長

どうぞ。

○図書館・歴史資料館長

これは3年ぐらい前に、重点的に各公民館にお願いして図書館の本を置くスペースをつくって、ぜひ住民の方に見ていただきたいということでして、その当時の状況で、今現在図書館の本を置いているところが、山内公民館、北方公民館、そして、朝日公民館、橘公民館と武内公民館、5か所に置いています。ほかのところは公民館が新しくなったらそういう場所も確保できるだろうということでありましたので、今年度になりましたので早速、若木の公民館のほうにはこちらから逆にお話をさせていただいて、ちゃんとそのコーナーを作ってほしいという、こちらも要望がございます。それで、2か月1回ぐらい、公民館の方が本を取りに来て入替えをしてもらう、そういう形になります。今ありがたいお話を逆にいただきましたので、今後ぜひお願いに参りたいと思います。

○OD委員

ありがとうございます。

○教育長

よろしいでしょうか。

○OD委員

はい。

○教育長

ほかにございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、④番の図書館の選書についての報告を終わります。

では、⑤番、各課からの行事報告ということで、まずは追加の報告がある課からお願いしたいと思います。文化課さん、ありますね。

○文化課長

文化課の報告です。36ページを御覧いただきたいと思います。

3月19日に、第1回武雄市文化施設のあり方検討委員会を開催いたしましたところでございます。第1回の中では、この検討委員会の目的や今後のスケジュールやエリアの整備の内容、大ホールの現状について共有を行ったところでございます。第2回を5月19日火曜日に予定しているところでございます。

○教育長

では、追加の説明ということで文化課さん。

次は、新文化交流施設拠点整備室長さん。

○新文化交流拠点整備室長

資料のほうでチラシを別途挙げさせていただいている分を御覧いただきたいと思います。新施設の愛称募集の分でございます。

先ほど教育長からもありましたとおり、令和9年春頃の開館を目指して新文化交流施設の整備のほうを進めておりますけれども、今回この施設につきまして、文化芸術の拠点だけではなく、市民交流拠点として、市民の皆様はじめ、利用される方々にとって身近で親しみのある施設になるよう、施設の愛称募集を行うこととしております。

今回募集する作品といたしましては、（仮称）武雄市文化交流施設の後に続く愛称ということになっておりまして、応募資格としては、年齢とか居住地を問わず、どなたでもお一人1点応募いただけるというふうにしております。応募期間といたしましては、5月1日から29日までの約1か月間としております。

次のページを御覧いただきたいと思います。

今回、応募の方法といたしましては、このチラシに掲載しております、今後、5月1日から応募いただけるように二次元コードを今つけておりますけど、これを読み込んでいただいて応募フォームから応募いただく方法と、チラシの下半分のほうをお切りいただいて設置箱だったり、文化課まで郵送していただく方法で募集を行いたいと思っております。

なお、選定の方法といたしましては、選定委員会を開催いたしまして、最もふさわしい1点を最優秀賞、2点を優秀賞として選定いたしまして、9月頃に受賞者の方へ通知を行うとともに、市報やホームページのほうで公表を予定しているところでございます。

なお、今後の周知につきましては、市のホームページで4月28日公開予定としております。

それと、これとは別に、これから長い間御利用いただく児童・生徒の皆さんにもぜひ御応募いただきたいということで、市内小・中・高のほうにチラシを配付いたしまして周知を

図っていききたいというふうに考えております。

以上です。

○教育長

そしたら、図書館・歴史資料館お願いします。

○図書館・歴史資料館長

それでは、38ページに図書館・歴史資料館の行事予定を載せています。

5月2日の歴史資料館企画展ということで、その次のページ、39ページ、40ページにチラシを載せさせていただいています。今年度、令和8年度第1回目の企画展でありまして、今回は「馬と生きる」ということで企画展を行ってまいります。

本来、馬というのは、古い時代から私たちのそばにいたということで、いろんな物の移動とか輸送とか、人の移動、いろんな戦いの場、いろんな形で馬の活躍は多くて、武雄は特にまた流鏑馬、そういう武芸も生まれているというような形で、ちょうど今年は午年でもありますので、馬に特化した、私たちの長年のパートナーの馬にスポットを当てた企画展を5月2日から5月31日まで30日間開催いたします。途中3回ぐらいギャラリートークも開催しますので、ぜひ委員の皆様には足を運んでいただいて御覧いただきたいということで御案内でございます。

以上です。

○教育長

文化課、あるいは新文化交流拠点整備室長、そして図書館・歴史資料館から追加がありましたけれども、ほかの課からPRしたい今後の行事、あるいは委員さん方に参加をしていただきたいような行事がありましたら、追加で説明をお願いしたいと思いますが、ありませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

そしたら、委員さん方から逆に、今追加の説明があった部署だけではなくてほかの課でもいいですので、各課からの行事報告について御質問等がございましたらお願いします。

○A委員

こども未来課さんのほうにお尋ねですけれども、4月15日に放課後児童クラブの連絡調整会議があったかと思うんですけど、児童クラブに関しては、新1年生の保護者の方から先日、心配の声をお聞きして、こども未来課さんほうに御相談させていただいて適切に対応していただいたところなんですけれども、新年度がスタートして、各小学校の児童クラブにおいてもいろいろなトラブルとか御相談が発生しているのではないかと思います。そのような相談トラブルはいち早く全児童クラブで情報共有等が必要かと思いますが、実際はどのような形で情報共有をされているのか。今回御相談したタイミングも連絡調整会議の後だったと思うので、そういった場合はどうしているのかとか、担当課としてどう関わっていらっしゃるのか、お尋ねしたいのが1点。

昨年度、ある小学校のほうで、新年度開始当初はばたばたして思うように児童クラブと連携が取れていないようなことをお聞きしたんですけれども、そうは言っても年度当初からしっかり連携を取っておかないと大きな事故やトラブルにつながりかねないと思うんですが、今現状、各小学校が児童クラブとの連携を4月始まって以降どのような形でしっかり体制的に取れているのか、また、担当課としてはどう関わっているのか、現状を教えてくださいたいのが1つあります。

最後に、昨年度から児童クラブ自体が対応人数とか場所とかがかなり大変な状況の児童クラブもあったかと思うんですけれども、今年度、御船が丘小学校とかは1年生が4クラスになったりとか、多分児童クラブの利用人数もかなり増えていると思うので、そういった増えたようなところに対する体制強化だったり、人員や場所の対応だったりとかは、こういった形で今年度は対応されているのか、教えていただけたらと思います。

○教育長

こども未来課をお願いします。

○こども未来課長

まず、1つの何か事故があったときというか、トラブルがあったときの児童クラブ全体の共有であったり、事務局のほうとの共有の部分ですけれども、それに関しましては、基本は調整会議のほうでまとめていただきますけれども、そういった調整会議以外のところでの緊急の話というのは、まずもって情報が入ったところから双方に、例えば、今児童クラブについてはヒューテックのほうにお願いをしておりますけれども、そちらに情報が入れば、すぐ市のほうに連絡が入るようになっていきます。双方で情報を共有しながら対応を話し合っ、すぐ対応に移るというふうなところでの情報共有は密にしております。

おっしゃるように、年度始まって新1年生、まだ学校が始まる前の部分からの利用であったりとかがあって、まだ学校に慣れていない状況ですぐに児童クラブに入ってしまうところではなかなか環境になじめない、双方、上級生と下級生というふうなところの話は来ておりますので、その分に関しては情報を、児童クラブ全体を認識した上で注意深く見るような形の指導というふうな形を取っております。

2点目の学校との連携ですけれども、そういったいろんな情報が入りましたら、まずもって学校のほうとも子どもたち、児童に対する情報共有をしていただいたりとかいうところ、または今年度に向かっては、昨年2月でしたか、校長会のときにも、新年度を迎えるに当たって、児童クラブの体制をつくるに当たって事前に先生方との連携、打合せといいますか、打合せをさせていただきますということでお願いしておりまして、各児童クラブのリーダー、副リーダーと学校の先生との打合せ会というのを定期的に、または新年度が始まるとき、長期休みの前とかいうところで密にコミュニケーションは取っていただいているというような状況です。

もう一つが大規模校の部分ですかね、御船が丘とか朝日とかがかなり利用は多い状況です。児童クラブの面積は決まっておりますので、1人当たりの面積の中で1.65平米という面積がありますけど、そこがクリアできるような形で運営はしております。

ただ、その面積はクリアしているからオーケーかというところ、実際そういう面積のところで子どもたちを見れば、かなりすし詰め状態といいますか、環境がよろしくないんで、できるだけ環境をよくするために学校のほうにも御相談をしながら、この時間帯だったらここを使っていいいですよというふうな、利用ができる場所の部屋を御相談して活用するように調整をしております。

現に、1つ事例を言いますと、御船が丘小学校の体育館の中のミーティングルームのほうも利用はさせていただいていたんですけども、そこには母親部会とか育友会とか、そういったものも置かれた状況の中で空いたスペースで活動していたんですが、御相談して、そこをきちんと整理させてもらって、ほぼほぼ整理をして別のところに移したりとかいうことで、ほぼ専用で使えるような形で、今回、学校の御協力をいただいて整理したという状況もあります。

ですので、学校のほうでできるスペースというのももちろん限られておりますので、今後は民間の放課後児童クラブのほうが計画なされておりますので、現に、旧朝日公民館の部分であったり、今年度、朝日地区でもう一件新設の計画がありまして、特に今年度のもう一つの新設のところに関しては、朝日地区だけではなくてほかの地区からも利用ができるような形で計画を考えられていますので、御船が丘小学校の子どもたちがそこを利用するというのも可能ですので、今後の待機児童対策のほうにはつながっていくんじゃないかなと思っております。

○教育長

よろしいですか。

○A委員

ありがとうございます。

○教育長

ほかにございませんでしょうか。はい、どうぞ。

○D委員

いつも溝上館長さんから新しい企画展の話聞くたびに興味を持たせてもらうんですけど、武雄市で馬というのをテーマにされるというのは僕もびっくりして、看板が公民館のところに貼ってあったので、武雄も馬といったら、ああ、流鏑馬だと単純に思ったんですけど、これはそれぞれ思い、人への接し方も違うので、教育長さんにちょっと紹介したことはありますけど、教え子で橋に石橋美里というのが、鷹匠ということでは皆さん御存じなんですけど、あそこにも馬を購入されて、馬と鷹、要するに昔の鷹狩りあたりの歴史、それから、この流

鎗馬の歴史も、それぞれ考え方は違うので、全て、はい、オーケー、ウエルカムということではなくても、歴史的なものはしっかりと美里さんは勉強しているので、こういうものもコラボとは言いませんけど、これは市が企画されているので、ぜひどこかではお話を、多分されていると思いますけど、聞いたり、つながったりしていただければ、貴重な方も武雄市におられるということで、紹介のような形になりましたけど、すみません、既に御存じだと思いましたけど。

○教育長

よろしいでしょうか。

○図書館・歴史資料館長

本当にありがとうございます。私も個人的に随分前から、まだ中学生ぐらいから美里さんがされていますし、今までも図書館も石橋さん親子に来てもらって、イベント等で見てもらって興味を持ってもらう。ただ、先ほどD委員さんがおっしゃったとおり、深く追求すると石橋さん自体の解釈があって、通常の武雄の流鎗馬のやり方までおかしいんじゃないかなとか、そういう御意見もあります。

だから、馬といいながら、それを通じたところでの石橋さんのそういう古い伝統行事、伝統のそういうものについては今後図書館としても一緒に紹介しながら皆さんにお知らせしていきたいと思っていますので、何かまたコラボをやっていきたいなと考えています。ありがとうございます。

○OD委員

ありがとうございます。

○教育長

よろしいでしょうか。

○OD委員

はい。

○OC委員

私も企画展で、大変興味があるなと思いながら楽しみにしています。

企画展は年間何回ぐらい計画をされているものなのか、先までこういうのをする予定だと決まっているものなのか、それともまだなのでしょう。

○教育長

よろしいでしょうか。

○図書館・歴史資料館長

たしか以前は年4回、5回、企画展をやっていたんですよ。でも、文化は大切だと言いながらも、どうしても予算的な市全体の中で、今現在は多くても年間4回ですね。今年度、8年度については実質の歴史資料館がやる企画展は3回です。1回目が5月の「馬と生きる」、

もう一つが今年度は特別企画展ということで、20周年記念ということも打ち上げながら、「シーボルトと武雄」ということで10月から11月末まで、1つの企画展と言いながら、2部構成にして前期、後期で分けて、20周年記念ということで特別企画展を予定しています。

そしてまた最後に、来年2月ぐらいから3月にかけて、今度、「鏡の世界」ということで、いろんな古い鏡等がありますので、そういう紹介をやる。

その3つが歴史資料館が主催する企画展になりまして、それ以外に、今年度はせっかく20周年だからということで、図書館と、今まで市長がやっていた企画展を歴史資料館と一緒にして、宇宙とかいろんな自然科学等を盛り込んだところで一緒にやろうかということで、そういうのを計画していますので、合わせたら4回の企画展を開催する予定にしております。

OC委員

ありがとうございます。

○教育長

よろしいでしょうか。ほかございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

では、各課からの行事報告については報告を終わります。

この後は【非公開】の議事に入っていきます。

【非公開議事終了】

では、ちょうど1時間が経過しましたがけれども、一応これで会議を終わりにして、その他で次回の日程についていきたいと思います。来月は5月20日水曜日15時からということでお願いしたいと思います。来月まで水曜日でいきたいと思っています。

では、その他ということですが、D委員から一言。

OD委員

本当、自分でもあっという間に8年が過ぎまして、昨日も市長さんにも言いましたけれども、本当名前のごとく、TPO全て、場所とか時構わず、ちょっとオーバー過ぎるような発言をしたり、オーバーに倒れ込んだり、大変皆さんには心配をかけたと思います。今までの教育委員さんにはないような心配をかけたのかなと思っています。

でも、昨日も市長さんに言いましたけど、生きている間はまだ武雄におりますので、子どもたちのために、町民がメインかも分かりませんが、市民のために、子どもたちのために、微力ながらお手伝いはしますので、皆さんがますますお元気で、教育長、市長を助けて、武雄市の子どもたちのために御尽力いただければ、お礼の言葉にもなりませんが、大変長い間お世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

○教育長

どうも御苦労さまでした。

そしたら、以上をもちまして4月の定例教育委員会を終わります。御苦労さまでした。

午後4時 閉会